

令和2年度第6回グループホームいこいの森運営推進会議プログラム
令和2年度第6回身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会
※新型コロナウイルス感染予防対策の為、開催時間（概ね30分）を短縮する。

●日程表 令和2年12月21日（月曜日）PM14：00～

□10月～12月の行事報告 <参考資料Ⅰ>

□1月～2月の行事予定 <参考資料Ⅰ>

□10月からの介護事故報告 <参考資料Ⅱ>

□高知県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金について <参考資料Ⅲ>

<参考資料Ⅰ－A>行事報告・行事予定

※高知県下での感染ルートが不明な新型コロナウイルス感染がみられていることから、外出支援を見合わせております。再開につきましては県下で一定以下の感染数が報告されるようになってから検討致します。

■行事報告

月	行事	内容等

■行事予定

未定

<参考資料Ⅱ>介護事故

あり：離施設事故

10月29日午前10時30分。3F。女性1名

上記の日付にて、掃除等の業務を行っている間にホームにいないことに職員が気づき直ぐに緊急連絡網に連絡。警察およびご家族に行方不明の連絡を行い捜索開始。約1時間後に以前お住まいのご自宅にて同職員が発見。その後に警察およびご家族に発見の旨を連絡。以前から帰宅願望が聞かれる時があったので、今後は不穏時等には特に注意することとした。又、1F自動ドアの改修を行い手動にてボタンを押して開閉が行えるようにした。介護保険課事業係に事故報告書提出済み。

<高知県新型コロナウイルス感染症対策：完全立ち入り禁止措置>

令和2年12月11日

ご家族の皆様へ

高知市南元町98番地
株式会社スノーフォレスト
代表取締役 森 裕

新型コロナウイルス感染予防対策について
～面会完全中止のご案内～

平素より「グループホームいこいの森」「グループホームいこいの森福井町」「いこいの森プラス」をご利用頂きまして誠にありがとうございます。また日常的に新型コロナウイルスの感染予防対策にご協力頂き誠にありがとうございます。さて高知県下では日々、新型コロナウイルス感染の報告が見受けられるようになり、感染ルートが不明な市中感染も報告されております。その対策としてしばらくの間、病院受診等の止むを得ない場合を除きご家族様等の施設への立ち入りを全面中止とさせていただきます。これから年末年始を迎えご入居者様のご家族の帰省もあり、ご面会をご希望される方も多くおられると思いますが、ご入居者様への感染を防止する措置としてご理解を頂きますようお願い申し上げます。尚、ご入居者様への物品等の受け渡しに関しましては玄関先等にて承ります。新型コロナウイルス感染予防対策におけるご質問やご不安な点等ございましたらお気軽に下記連絡先までお問い合わせください。

記

<各事業所のお問い合わせ先>

- ・グループホームいこいの森 電話：088-872-6647 (担当：武田)
- ・グループホームいこいの森福井町 電話：088-855-9111 (担当：下司)
- ・いこいの森プラス 電話：088-856-7012 (担当：森)
- ・当該文章についてのお問い合わせ 電話：088-825-0860 (担当：森)

以上

面会完全中止

～グループホームへのご訪問について～
新型コロナウイルス感染拡大防止の為、現在、ご家族様を
含み全ての面会・立ち入りを禁止しております。

■ご利用の方はインターホンにてご連絡ください。



令和2年度第6回身体拘束等の適正化の対策を検討する委員会

■身体拘束実施の報告

前回（R2.10）から今回（R2.12）まで身体拘束は行っていません。

■スピーチロックの廃止に向けての取り組み～②「慣れ」に潜む危険を確認～から

医療法人いつき会 介護事業部長 原 克行 介護老人保健施設いつきの里 事務長

●身体拘束廃止記録の一新

2007年になると、委員会内の話し合いも厚生労働省の身体拘束のガイドラインを基に施設マニュアルの整備や拘束に至るまでの手続きなどのプロセス管理を徹底するなど、施設全体で拘束廃止に向けた動きが出はじめました。毎月の委員会で施設の拘束廃止に向けた考えや方針を何度も明確に伝え、話し合いを行いました。そして同年、施設内ガイドラインの見直しを実施しました。また、これらを委員会内のみの話し合いで終わらせないためにも、施設長はじめ役職者が集まる会議でも取り上げ、施設全体での浸透を図りました。この年の12月、愛知県の実地指導が当施設で行われ、その際に県の担当者から貴重なアドバイスをいただきました。それは、拘束を「外せるか外せないか」という二者択一の問題にしてしまうとなかなか解除に向けた一歩が踏み出せないため、利用者の様子観察を24時間で細かく見て、拘束している時間帯を塗りつぶし、30分単位で外せないかを検討し、試してみるとよいのでは、というアドバイスでした。このアドバイスを基に、翌年4月より「身体拘束廃止記録」を一新し、取り組みをスタートさせました。

●方針の明文化

2008年6月の委員会では、NPO法人全国抑制廃止研究会のDVDを使った勉強会を実施しました。また同年9月には、当法人のホームページにて、身体拘束撤廃を目指す施設として宣言し、方針を改めて明確にしました。10月には、全国抑制廃止研究会の研修会に介護士、看護師、相談員の3人が参加し、拘束の疑似体験を行い、他施設の職員とのディスカッション、拘束に関する裁判事例の紹介などを通じて、多くのことを学びました。その後、定期的に行っている家族アンケートからいただいた意見をきっかけに、接遇に関する指針を定め、ホームページでも宣言し、施設全体で取り組みをスタートさせました。接遇に関しては以前よりさまざまな取り組みを行っていましたが、より取り組みを具体的にさせるために、明文化しました。

●スピーチロックについての話し合い

2009年2月、当施設内の身体拘束は0となりました。この年の新人研修から拘束の疑似体験を取り入れ、10月には、愛知県老健協会看護介護部会の西尾張ブロック長を務めた際に、同地区内20施設のうち16施設、計81人で「身体拘束廃止への取り組みについて」をテーマに研修会を実施し、その中でも特にスピーチロックについて話し合う機会を持ちました。2010年2月、関係する職員に対し、スピーチロックについての意識調査を実施しました。3月の委員会内でも、この結果を基に話し合い、施設として総括し、何をすべきかを検討しました。ここで得たものは、4月より施設全体で取り組みます。～次回に続く

身体拘束廃止等の適正化の対策を検討する委員会議事録

開催日時：開催日時：令和2年12月21日午後2時～

出席者：委員長 代表取締役（森 裕）、グループホーム管理者（武田）、グループホーム管理者（河野）

その他書面による報告：愛育園園長、アトム薬局薬剤師、ご家族の代表

委員長より前回開催日より本日まで身体拘束を行っていないことを説明。今回は前回に引き続き、愛知県の医療法人のスピーチロック廃止の取り組みの紹介を行った。今回特に注目すべき点は拘束を「外せるか外せないか」という二者択一の問題にしてしまうとなかなか解除に向けた一歩が踏み出せないため、利用者の様子観察を24時間で細かく見て、拘束している時間帯を塗りつぶし、30分単位で外せないかを検討することで、時間単位で拘束を行わない時間を作ることにより、全体的に身体拘束の廃止につながったといえる。スピーチロックについては接遇の問題にも直結しており、当該グループホームにおいても長期的かつ継続的に話し方や声掛けの仕方等を学んでいく必要がある事等を議論した。

令和2年第6回グループホームいこいの森運営推進会議議事録

開催日：令和2年12月21日（月曜日）午後2時00分～午後2時30分

出席者：施設代表（森）、グループホーム管理者（武田）、グループホーム管理者（河野）

書面またはホームページ閲覧による報告：家族代表（江川）、薬剤管理（アトム薬局職員：薬剤師）地域の代表（社会福祉法人園長：清遠）西武地域包括支援センター旭分室職員※敬称略

検討テーマ等：行事報告、行事予定、事故報告、新型コロナウイルス感染症防止対策面会完全中止

<参考資料Ⅰ-A>行事報告・行事予定<参考資料Ⅰ-A>行事報告・行事予定

■行事報告

新型コロナウイルス感染対策の為、中止

■行事予定

未定

■介護事故

離施設事故1件。10月29日10時30分頃

■上記に対する意見

新型コロナウイルス感染予防対策の一環として全ての行事を中止。再開については正直、見通しがつかない。ワクチン接種等が開始されても感染数の状況次第では外出支援については今後も厳しいのではないかとの意見があり、皆も賛同した。介護事故については普段から不穏時に帰宅願望が聞かれておったので、注意をしていたが、事故が起きてしまった。掃除中等で死角や行動が見渡せない場合は玄関の鍵を締める等も必要ではないかとの意見もあったが、根本的には職員全員で行動を見て防止することが必要であるとのこととなった。又、物理的な防止策としてグループホーム福井町のように自動ドアを自動閉会するタイプではなく、手でボタンを押しての閉会方式のタイプに変更してほしいとの意見があったため、施設代表より改修工事を行う旨を伝えて離施設防止に務めることとした。

<参考資料Ⅱ>新型コロナウイルス感染症の流行拡大のため面会全面禁止

平素より「グループホームいこいの森」「グループホームいこいの森福井町」「いこいの森プラス」をご利用頂きまして誠にありがとうございます。また日常的に新型コロナウイルスの感染予防対策にご協力頂き誠にありがとうございます。さて高知県下では日々、新型コロナウイルス感染の報告が見受けられるようになり、感染ルートが不明な市中感染も報告されております。その対策としてしばらくの間、病院受診等の止むを得ない場合を除きご家族様等の施設への立ち入りを全面中止とさせていただきます。これから年末年始を迎えご入居者様のご家族の帰省もありご面会をご希望される方も多くおられると思いますが、ご入居者様への感染を防止する措置としてご理解を頂きますようお願い申し上げます。尚、ご入居者様への物品等の受け渡しに関しましては玄関先等にて承ります。新型コロナウイルス感染予防対策におけるご質問やご不安な点等ございましたらお気軽に下記連絡先までお問い合わせください。

面会完全中止

～グループホームへのご訪問について～
新型コロナウイルス感染拡大防止の為、現在、ご家族様を含み全ての面会・立ち入りを禁止しております。

■ご用の方はインターホンにてご連絡ください。



■上記に対する意見

特に年末年始を迎えるにあたり、高知に来高されるご家族の方がご面談を希望される方が多数おられることと考察されるが、差し当たり上記文章を郵送した旨を報告。また玄関口には警告のポスターを掲示し施設内への立ち入りを抑制するようすることとした。面会全面禁止についてはWEBサイトでも啓発。万一、ホーム内へ出入りを行う場合は必ず検温、手指消毒、マスクの着用は絶対であることの確認。

通信欄

※次回運営推進会議は令和3年2月を予定しております。

※当該内容および運営推進会議プログラム内容は弊社ウェブサイトでもご覧いただけます。

※運営推進会議はどなたでも参加していただけます。参加を希望の方は下記までご連絡下さい。

※開催日については予め地域の代表、ご家族の代表、地域包括支援センターと調整させて頂き弊社ウェブサイトにて告知させていただきます。

運営推進会議議事録作成者・担当者 森 裕

■■運営推進会議参加連絡先■■

〒780-0935 高知市旭町2丁目38-5 グループホームいこいの森 TEL.088-872-6647

■■ウェブサイトのご案内■■

<http://www.151.ecweb.jp/index.html>

■■E-mailのご案内■■

snowforest151@gmail.com

高知市 いこいの森

検索

